

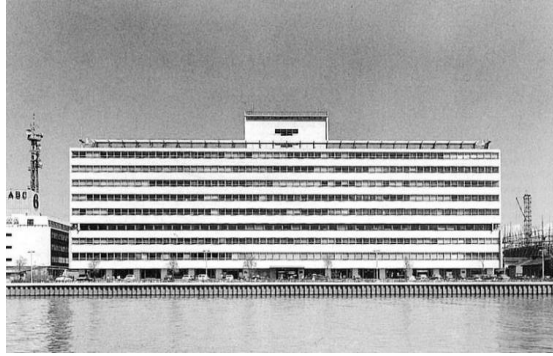
# 環境配慮事項とねらい



重厚な石張りの外装は川を挟んだ中之島の建築物群と呼应し、横基調のデザインは隣接する堂島ダイビル（ANA クラウンプラザホテル大阪）と呼应する。ビルとしてのアイデンティティを表出しつつ、周辺環境との連続性を意識した外観とした。

## ■堂島川に沿い伸びやかに大庇が積層する環境親和型ランドマークビル

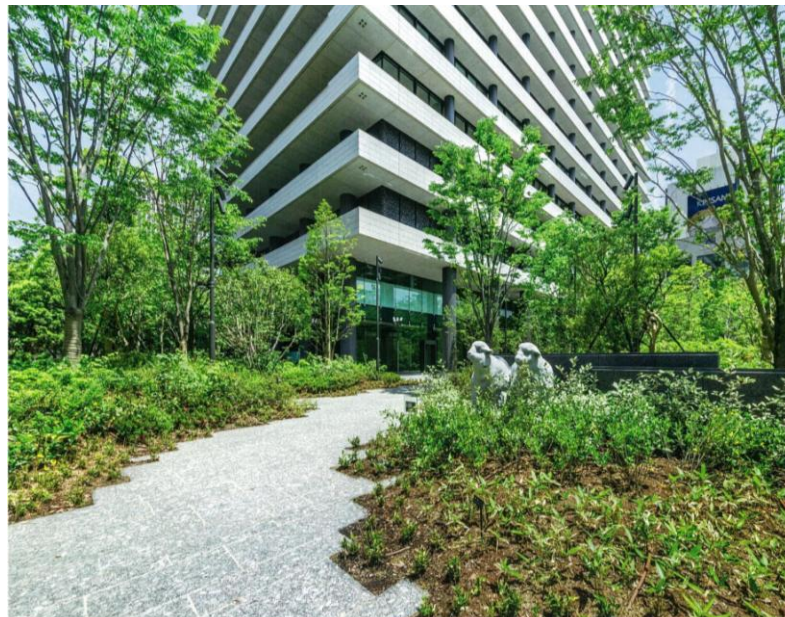
- ・環境負荷を軽減する石貼りの力強い大庇の存在感をアピールした外観計画
- ・庇は窓清掃にも利用され維持管理のしやすさにも貢献
- ・川沿いに水平方向に展開する豊かな眺望に呼应する横連窓のデザイン
- ・堂島川に対して伸びやかに開いた 旧ビルの横基調イメージも継承



旧・新ダイビルの外観。永く親しまれた横基調の外観を踏襲



深い庇で日射から守られたフルハイトの窓から、中之島・御堂筋をプラインドレスで俯瞰する。



豊かな緑に囲まれたビルへのアプローチ。敷地四隅には旧ビル外壁に設置されていた羊の彫像を移設・保存し、訪れる人を出迎えるモニュメントとして再生した。

## ■旧ビル屋上樹苑を継承した広大な 1000 坪の緑地空間「堂島の杜」

- ・ビル緑化の先駆けである旧ビル屋上樹苑を継承し、足元に広大な安らぎの森を創出
- ・季節感あふれる木立や水景を巡る遊歩道空間の演出で都心のオアシスを実現
- ・エントランスは透明感ある構成とし、緑に包まれた空間として堂島の杜との一体感を演出
- ・旧ビルから一部の樹木を移植し、JHEP 認証制度で最高ランク AAA を取得



水景や岩組・樹苑をめぐる遊歩道やベンチなど、自然を感じ、安らげるスポットを随所に配置した。

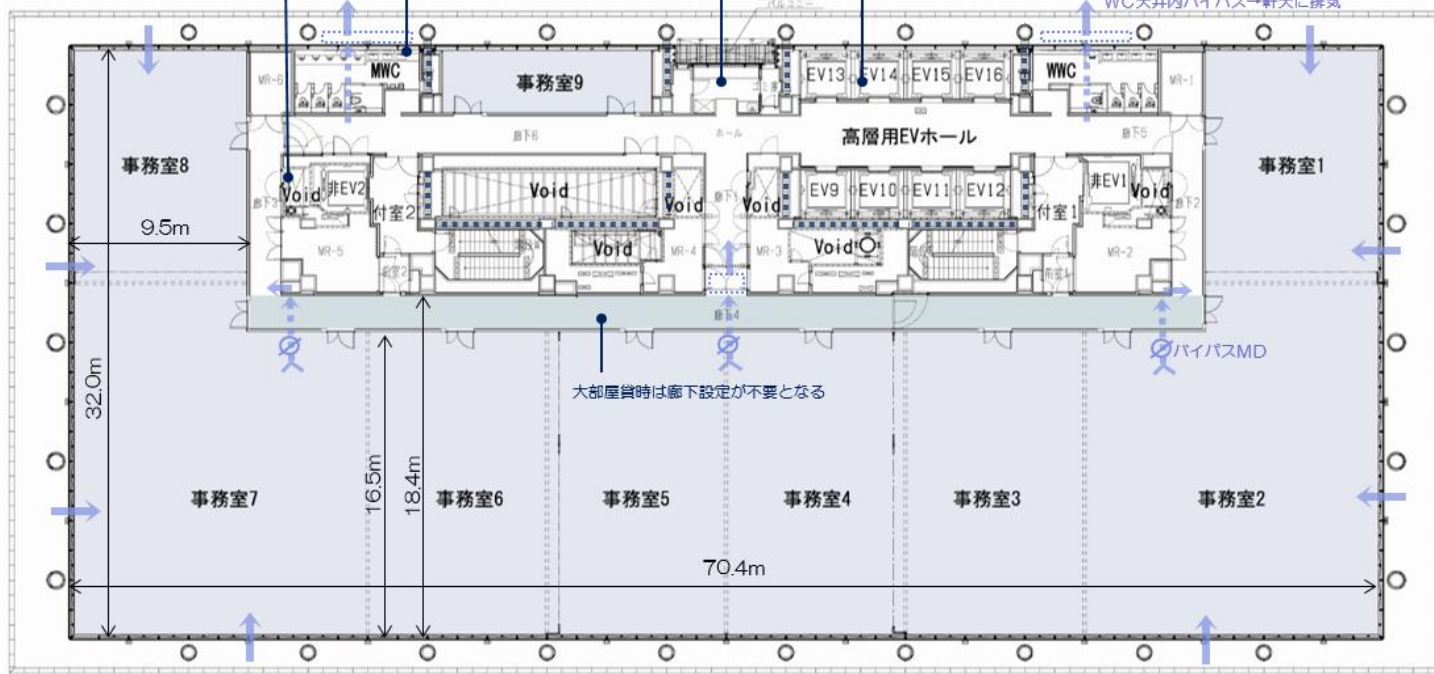


機械室に隣接してボイドを分散配置し多面的に利用（空調排気・煙突・冷温水配管・テナント室外機置場など）

足元からも光を導くフライングWCユニット

リフレッシュスペース

シースルーEVから共用部に自然光を導く



## ■恵まれた眺望を最大限に享受する、開放的かつフレキシブルなオフィス

- ・アウトフレームとして柱型のない整形プランでフレキシビリティを向上
- ・室毎 8 台の空調機と最小単位 20 m<sup>2</sup> の VAV によるきめ細かな空調制御
- ・共用部から機器メンテ・更新が可能

## ■自然の恵みをフルに活かし効率化も徹底した環境共生ビル

- ・庇空間を活かした自然採光、自然換気、外気冷房（6.5 回/h）、雨水利用など自然の恵みを活用
- ・庇による直達日射の抑制、Low-E ガラス採用などにより PAL 値：228MJ/m<sup>2</sup> 年を達成

## ■徹底した省エネによる環境配慮

- ・超高効率熱源、排熱利用熱源を採用した熱源システムと省エネを確実にする小負荷運転対応制御
- ・水熱源冷凍機の採用によりヒートアイランド防止に貢献
- ・ポンプ、空調機の総インバータ化によるモータ動力削減
- ・室内 CO<sub>2</sub> 濃度制御による取入外気の空調負荷低減
- ・3.2m モジュール単位での LED 照明点滅制御と昼光センサー採用
- ・エネルギー見える化を支援する熱量計測
- ・上記の他に総合的取り組んだ結果、ERR 値：49.4%を達成

## ■人とビジネスを守る防災・BCP 対策

- ・停電時にテナントに電源を供給する非常用発電機（15VA/m<sup>2</sup>×3 日間）
- ・災害後も WC 利用可能とし、災害後の復旧活動を支援。（雑用水槽・緊急排水槽の容量確保、衛生器具への発電機電源）

